

第2回新潟市南区地域福祉アクションプラン推進委員会 議事録

日 時 平成31年3月19日(火) 午前10時～
会 場 白根健康福祉センター 3階 多目的ホール

午前 10 時 事務局	<p>これより平成 30 年度の第 2 回新潟市南区地域福祉アクションプラン推進委員会を開催させていただきます。若干遅れている委員もいますけれども、順次、お見えになるかと思えます。よろしくお願いいたします。</p>
健康福祉課長	<p>私は、本日の進行を務めさせていただきます南区健康福祉課課長補佐をしております渡邊でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日の会議は、会議録を作成させていただきますので、録音をさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>開会にあたりまして、南区健康福祉課長の田中よりごあいさつ申し上げます。</p>
事務局	<p>皆さん、おはようございます。いつもお世話になっております。南区健康福祉課長の田中でございます。来年度も、異動なしということで、引き続き、皆さんと一緒にやっていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日は、年度末という忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。現在、新潟市では、ご存じのように健康寿命の延伸、あるいは地域包括ケアということで、一体となって一生懸命いろいろな取組みをしているところでございます。</p> <p>本日の会議でございますけれども、一つ目の目的といたしましては、平成 31 年度の計画について意見交換をしていただきたいということと、もう一つは、各地区で活動した地区別計画の取組み状況についてご報告いただくといった 2 点が大きなところでございます。それぞれ各地域に持ち帰っていただきまして、より南区の福祉に対する活動を深めていただきたいということを主眼にしておりますので、本日は、忌憚のないご意見を頂きたいと思えます。</p> <p>平成もこれで最後ということで、平成最後の会議になるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
南区社会福祉協議会事務局長	<p>続きまして、南区社会福祉協議会の小林事務局長、よろしくお願いいたします。</p> <p>皆様、おはようございます。南区社会福祉協議会の事務局長の小林と申します</p> <p>本日はご多用のところ、ご出席をいただきまして、大変ありがとうございます。南区社会福祉協議会では、市の委託を受けまして、支え合いのしくみづくりというものに取り組んでいるところでございます。1 月 18 日ですけれども、支え合いのしくみづくりアド</p>

事務局	<p>バイザーの河田珪子様をお迎えいたしまして、支え合いの学校という地域での支え合いのことに关します研修会を開催させていただきましたところでございます。これには 80 名を超える方からの参加をいただきました。地域での支え合いの関心の高さと必要性を再認識させていただきましたところでございます。</p> <p>先ほど、田中課長からも話がありましたとおり、本日、地区別計画の進捗について、それぞれご報告をしていただく予定となっております。</p> <p>今後、ますます地域での福祉活動が活発に行われますよう、区の社会福祉協議会としても事業を推進していきたいと思っておりますので、ご協力のほど、よろしくお願ひいたしたいと思ひます。</p> <p>本日は、どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、資料の確認でございます。事前にお送りした資料でございますが、次第が 1 枚、委員名簿が 1 枚、資料 1 「平成 31 年度南区地域福祉アクションプラン福祉分野別計画進行管理表」、表紙を除いて 12 ページ A 3 のものがございます。資料 3 「南区地域福祉計画分科会名簿」が 1 枚でございます。本日お配りした資料 2 「平成 30 年度南区地域福祉アクションプラン地区別計画進行管理表」も表紙を除きまして 12 ページ。最後に、座席表でございますが、いかがでしょうか。過不足がございませんでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、次第 3、自己紹介でございます。前回の推進委員会から半年たちましたので、ここで改めて自己紹介をお願ひしたいと思ひます。自己紹介は、選出先とお名前など簡単でけっこうでございますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>それでは、金子委員から時計回りでお願ひします。</p>
金子（勝）委員	<p>私は、新飯田コミュニティ協議会から来ております。金子と申します。よろしくお願ひいたします。</p>
上杉委員	<p>私は、コミュニティ茨曾根から参りました上杉と申します。よろしくお願ひいたします。</p>
西村委員	<p>小林のほうから来ました、西村と申します。今日はよろしくお願ひします。</p>
小林委員	<p>おはようございます。臼井地区コミュニティ協議会から来ました、小林と申します。よろしくお願ひいたします。</p>
安達委員	<p>鷺巻地区コミュニティ協議会の副会長をしております安達と申します。よろしくお願ひします。</p>

丸井委員	根岸地域コミュニティ協議会の丸井武馬と申します。よろしくお願いいたします。
長谷川委員	大通コミュニティ協議会から来ました長谷川茂です。よろしくお願いいたします。
小柳委員	おはようございます。白根地区のコミュニティ協議会から参りました小柳と申します。よろしくお願いいたします。
仲山委員	おはようございます。味方コミュニティ協議会から参りました仲山です。よろしくお願いいたします。
田中委員	南区民児協連絡会から来ました田中でございます。よろしくお願いいたします。
佐藤委員	南区老人クラブ連合会から来ました佐藤です。よろしくお願いいたします。
永井委員	身体障がい者福祉協会から参りました永井です。よろしくお願いいたします。
山田（久）委員	音声訳ひばり会から参りました山田久美子と申します。よろしくお願いいたします。
山田（ひ）委員	子育て支援団体から来ました山田ひろ子です。よろしくお願いいたします。
金子（周）委員	南区社会福祉協議会の金子でございます。よろしくお願いいたします。
藤委員	白根児童センターから参りました藤と申します。よろしくお願いいたします。
南区社会福祉協議会事務局長補佐	おはようございます。南区社会福祉協議会の竹石です。来年度も引き続き、よろしくお願いいたします。
事務局	私、南区健康福祉課地域福祉担当の星野と申します。よろしくどうぞお願いいたします。
事務局	南区役所健康福祉課地域福祉担当の新飯田と申します。よろしくお願いいたします。
事務局	南区役所健康福祉課児童福祉係長の長谷川と申します。よろしくお願いいたします。
事務局	南区役所障がい福祉係の関本と申します。よろしくお願いいたします。
事務局	南区役所高齢介護担当の長谷川と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。
事務局	同じく健康増進係の相田と申します。よろしくお願いいたします。

事務局 事務局	<p>同じく地域健康係の斉藤と申します。よろしくお願ひします。</p> <p>南区社会福祉協議会の横山と申します。どうぞ、よろしくお願ひいたします。</p>
事務局	<p>おはようございます。南区社会福祉協議会ボランティア市民活動センターの田村と申します。よろしくお願ひいたします。</p>
事務局	<p>おはようございます。南区地域総務課の立川と申します。よろしくお願ひいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p>
金子委員長	<p>次第の4議事に入ります。ここからは、南区地域福祉アクションプラン推進委員会開催要綱の規定に基づきまして、金子委員長に進行をお願いしたいと思いますので、金子委員、山田委員は席の移動をお願いいたします。</p> <p>皆さん、おはようございます。委員長の南区社会福祉協議会選出の金子でございます。</p>
事務局	<p>本日の会議の目的でございますけれども、2015年から2020年までの6年間の南区地域福祉アクションプランという福祉の計画があるわけでございますが、本日は平成31年度の目標等について、皆様方からご審議をしていただくということでございます。</p> <p>ご案内のように、このアクションプランも平成30年で4年を迎えたわけでございます。4年目が終わったということで、平成31年度は5年目となります。そういったことで、平成31年度の南区地域福祉アクションプラン分野別計画の取組みについて、事務局から説明をしていただきますが、事務局より取組みの一部について、映像資料を作成いたしましたので、事前の取組みのイメージを持っていただいたうえでヒヤリングをしてもらいたいということでございます。最初に映像を見てから、それぞれの分野について説明をしてもらうことにしたいと思います。それでは、事務局、映像をよろしくお願ひします。</p> <p>私、健康福祉課の星野でございます。</p> <p>今年度は、新しく委員に加わった方もおられますので、取組みのイメージをより具体的に持っていただける映像資料を作成しました。前回8月の委員会では、作成途中の暫定版をご覧いただきましたが、今回は内容を追加したものができましたので、これから約7分間ですが、ご覧いただきたいと思っております。映像に出てくる取組みなのですけれども、全部で12ございます。</p> <p>1番目、地域の茶の間モデルハウス天昌堂。2番目、子育て支援</p>

	<p>センターマリンキッズ。3番目、障がい者地域自立支援協議会。4番目、認知症カフェ。5番目、はかろう体重大作戦。6番目、福祉教育。7番目、カムカムスマイル食育講座。8番目、子育てオーエンジャーみなみ。9番、安産教室。10番、災害ボランティアセンター。11番、赤ちゃんふれあい体験教室。これは思春期教育ということで見ていただければと思っておりますし、12番目、高校生防災ボランティア育成研修ということで、今、申し上げた1番から12番の資料映像がスクリーンに出ますので、これからご覧になっていただければと思っております。</p> <p>お手数ですがけれども、事務局並びに委員長、副委員長は、脇のほうにイスがございますので、移動していただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>投影の関係で、照明を一旦、落とさせていただきますので、ご了承をお願いします。</p> <p>……動画再生……</p> <p>いかがだったでしょうか。これは取組みの一部を映像でご紹介させていただきました。なお、この映像は、この会だけということで、関係の皆様から撮影のお許しをいただいたものですので、ほかの用途やほかの会議等でお見せすることはできませんので、あらかじめご了承をお願いいたします。以上で資料映像を終わります。</p> <p>いろいろな取組みにつきまして、今、映像をご覧いただきました。それでは、皆様方、資料1をお出しいただきたいと思います。</p> <p>資料1の進行管理表をご覧いただき、大項目ごとにヒヤリングをしていただければと思います。</p> <p>まず、児童。子育て支援の分野から順に説明をお願いしたいと思います。</p>
金子委員長	<p>児童・子育て分野を担当しております、児童福祉係の長谷川と申します。よろしく願いします。</p>
事務局	<p>それでは、平成31年度の児童・子育て支援の実施内容について、説明いたします。資料1の1ページ目をご覧ください。</p> <p>目標である大項目の安心して子育てできるまちについて、1ページ目から3ページ目まで一つの小項目についてまとめてあります。まず、小項目の一つ目の子育て世代が孤立しないまちづくりについてですが、平成30年度では、課題に対して多様な手法による子育て</p>

	<p>て情報の発信、子育て中の親同士の交流促進、ネットワークづくり、訪問、相談事業の強化に向けて計画した内容を実施したことにより、子育て世代が孤立しないような仲間づくりと仲間同士のつながりを深めることにつながっており、一定の成果が見込まれておりますので、小項目全体では実施内容や年度目標数値などを大幅に修正する必要がないことから、平成 31 年度も平成 30 年度と同じ内容で実施している予定であります。</p> <p>次に 2 ページ目をご覧ください。小項目を地域で支えるゆとりを持った子育てができるまちについてです。平成 30 年度では、計画をした内容を実施したことにより、地域住民全体で子供を育む意識の向上、子育て中の親子の居場所の確保、子育て支援リーダーやボランティアの育成と活動の支援につながる成果が見込まれておりますので、小項目全体で実施内容や年度目標数値などを大幅に修正する必要がないことから、こちらについても平成 31 年度も同様に同じような内容を実施していく予定であります。</p> <p>次に、3 ページ目をご覧ください。小項目の子育て支援・事業の充実についてです。平成 30 年度では、計画した内容を実施し、子供に関する悩みについてのアドバイスや子供が安心して遊べる環境の整備、子育て支援施設や事業の内容の周知に努めたことで、一定の成果が見られておりますので、小項目全体で実施内容や年度目標数値などを修正する必要がないことから、平成 31 年度も同様に実施する予定です。簡単ですが、以上で児童・子育て支援について終わらせていただきます。</p> <p>どうもありがとうございました。ご意見や質疑につきましては、最後にまとめて行いたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>それでは、続きまして障がい福祉分野について、ご説明をお願ひいたします。</p>
金子委員長	障がい福祉を担当しております、障がい福祉係の関本と申します。
事務局	<p>障がい福祉を担当しております、障がい福祉係の関本と申します。</p> <p>平成 31 年度の障がい福祉支援の取組みについて説明いたします。4 ページをご覧ください。目標である大項目の障がいのある人もない人も安心して暮らせるまちについて、4 ページから 6 ページまで三つの小項目に分けてまとめてあります。小項目では、実施内容や年度目標数値など、大幅に修正する必要がないことから、平成 31 年度も平成 30 年度と同じ内容で実施していく予定です。まず、</p>

<p>金子委員長 事務局</p>	<p>小項目、福祉サービス利用の相談体制充実をご覧ください。平成 30 年度では、障がいに関する相談窓口である基幹相談支援センター秋葉の周知を図るために、区だより、社会福祉協議会だよりに掲載するほか、研修会を通して周知を行ってきました。どこに相談したらよいか分からないといった方を少しでも救えるよう、来年度でも継続して周知を行っていく予定です。</p> <p>続きまして、5 ページ、小項目、障がいのある人と地域が交流できるまちについてです。平成 30 年度では、地域の人たちへの障がいに対する理解と地域の受け皿づくりのために、地域の行事に参加できるよう、呼びかけをお願いしました。平成 31 年度も基本的には引き続き、行っていく予定ですが、一点変更があります。取り組み番号③の心の健康づくり講座につきましては、NPO たすけあい・ぱると協働で講座を開いてきましたが、NPO たすけあい・ぱるが設立後 3 年を経過し、精神保健福祉ボランティアも育っていることから、事業の実施主体を NPO へ移行し、次年度計画から外す予定で考えております。しかし、精神障がい者が安心して暮らせる地域づくりが必須であるため、行政と NPO たすけあい・ぱるが相互に連携協力することは、今後も継続していきます。</p> <p>続きまして、6 ページ、小項目、自立支援体制の充実についてです。平成 30 年度では記載のとおり、計画した内容を実施することにより、地域の課題の解決に向けて話し合える環境の整備の推進という課題に向け、生活課題への早期支援、関係機関と情報共有を進めてきました。来年度以降も、同様に続けていく予定です。以上、障がい福祉支援の取り組みについての説明を終わります。</p> <p>どうもありがとうございました。それでは、続きまして、高齢者福祉・介護者支援分野の説明をお願いいたします。</p> <p>お疲れさまです。高齢介護担当の長谷川と言います。よろしくお願ひします。皆様には、いつもお世話になっております。私のほうからは、高齢者福祉介護支援についてご説明いたします。</p> <p>資料 1 のまず 7 ページからお願いします。目標であります大項目高齢者が安心して暮らせるまちづくりということで、7 ページから 9 ページまで三つの小項目に分けてまとめてあります。おおむね今年度を継承した計画となっております。まず、小項目の高齢者・介護者を支えあうまちづくりをご覧ください。平成 30 年度は、ゆるやかな見守りを行う取り組み支援として、地域からの要望により見守り活動実施検討支援や地域の集いの支援などを行いました。平成</p>
----------------------	--

<p>金子委員長</p> <p>事務局</p>	<p>31 年度も地域からの要望に添った支援を行っていきたいと考えています。また、地域包括支援センターや介護教室の周知は、行事の旅に行っておりますが、より多くの方々から参加していただけるよう、来年度も引き続き、周知を続けてまいります。さらにケア会議などを活用し、顔の見える関係ネットワークづくりも継続して実施する予定としております。</p> <p>次に、8 ページの小項目、高齢者の健康づくり・介護予防の推進です。平成 28 年度からミニドック型集団健診とはかろう体重！大作戦を実施したほか、ほかの取組みも計画通りに実施し、区民の健康づくりへの関心を高めました。来年度も引き続き実施してまいります。取組み番号①地区での健康づくり講座のフォロー講座（ウォーキング講座）については、運動をしようとする人しか集まってくまないので、より多くの方々から関心を持っていただくために、平成 29 年度、平成 30 年度と食育講座も合わせて実施し、うまうまウォーキング講座へつなげることができましたので、平成 31 年度も同様に食育講座と合わせて実施してまいります。</p> <p>最後に 9 ページ、小項目、認知症の予防と対策です。平成 30 年度から広く認知症予防について啓発をしていくために、新たに認知症予防出前講座を開始し、地域で運動ボランティアとして活躍している運動普及推進員にご協力いただき、地域の茶の間に出向いていきます。平成 30 年度は初年度のため、目標を年 2 回としましたが、目標を上回る 8 回の実施ができましたので、平成 31 年度の目標を年 12 回へと修正いたしました。認知症サポーター養成講座については、今年度は申請件数 23 件を受理しています。今後も増加する認知症対策として、引き続き、有効な広報活動を考えていきます。また、平成 27 年度に立ち上げた認知症サポーターを養成するキャラバンメイトの方々の連絡会は、情報共有と活躍方法の検討を行うため、こちらも引き続き、実施していく予定です。認知症カフェは平成 29 年度より回数を増やし、毎月第 4 土曜日、年 12 回を実施しております。今後も、定期的な開催と安定運営を目指し、続けていく予定としております。</p> <p>以上、高齢者福祉・介護支援の取組みについて、説明を終わります。</p> <p>どうもありがとうございました。それでは、最後になりますが、地域づくり分野お願いしたいと思います。</p> <p>地域づくり分野のご説明をさせていただきます。南区社会福祉協</p>
-------------------------	---

議会南区ボランティア・市民活動センターの田村と申します。よろしくお願いたします。

地域づくり分科会は、資料の 10 ページから説明させていただきます。小項目、地域のボランティア活動の場発信と活動支援の取組みの内容の説明をさせていただきます。白根健康福祉センターのボランティア活動の拠点化について。未利用の団体に情報提供を随時行っていき、現在、使用しているボランティア団体からは、情報収集を随時行っていきます。南区ボランティア情報誌の発行について、南区ボランティア市民活動だよりを年 2 回発行いたします。ボランティア情報の集約とネットワーク化、ボランティア養成講座の開催と活動の場の紹介について、ボランティア団体の交流、研修会、講座については、平成 30 年度では計画した内容を実施したことにより、ボランティアの育成、ボランティア情報交換等が行われました。平成 31 年度も引き続き、講座、研修、交流を開催し、ボランティアのスキルアップ、ボランティアの増加、情報共有を行ってまいります。福祉教育の充実について、平成 30 年度は、南区小学校 11 校のうち 10 校が福祉教育に協力していただきました。平成 31 年度は、中学校を含め、さらなる拡大を目指します。また、子供だけでなく、大人への福祉教育を行うことで、福祉教育の理解が深まると考えておりますので、引き続き、平成 31 年度も大人向け福祉教育の取組みを行います。災害ボランティアの育成について、平成 30 年度災害ボランティアセンターに関しましては、災害ボランティアセンター検討委員会を 2 か月に一度開催しました。また、災害ボランティアセンターの周知と理解、有事の際の連携を考えた研修を行いました。平成 31 年度も引き続き、サテライト候補地や災害ボランティアセンターの設置の際に必要な事項や災害時のネットワークづくりを検討していきます。また、研修会や設置訓練では、災害ボランティアセンターに関するスキルアップを行います。災害ボランティアセンターの意義を地域の皆さんに周知していきます。小項目全体では、実施内容や年度目標数値を修正することがないことから、平成 31 年度は平成 30 年度と同じ内容で実施をしていきたいと思っております。

続きまして、11 ページの地域の茶の間・ふれあいいきいきサロン活動の支援を説明させていただきます。地域の茶の間・ふれあいいきいきサロンの参加者は往々にして女性中心で、男性利用者はお茶の間に限り限定的です。お世話役の方々も一年一年お年を重ねてい

	<p>きますが、生きがいや張り合いを持って茶の間の活動をしておられています。介護サービスの利用が始まると参加しなくなる方もいらっしゃると思いますが、顔なじみの皆様が集う大事な居場所として参加できるように働きかけが課題となってきています。助成金については、活用の要件がありますが、助成金ありきではなく、数人でも集まってふれあうことと、地域の情報交換の場であったり、見守り活動につながります。開催に当たっては、いろいろなプログラムを計画しているお茶の間もありますが、イベントにこだわらないお茶の間であってもよいのではないかと折に触れて説明をさせていただいております。平成 31 年度は、平成 30 年度からの課題を引き継ぎ、解決できるようにしていきます。また取組み内容にありますとおり、実施に努めてまいりたいと思います。よろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>南区地域総務課総務・安心安全グループの立川と申します。よろしく願いいたします。</p>
	<p>引き続き、12 ページ、小項目、避難行動要支援者支援体制の充実について説明をさせていただきます。平成 31 年度につきましても、役員が交代しても、災害時の要支援者の支援体制が円滑に図れるように要支援者名簿の引き継ぎや自主防災訓練などで要支援者の確認などを行っていただけるよう、自主防災組織や自治会、町内会の皆様へお願いしていきたいと思っております。また、先ほど映像にもありましたが、白根高校の生徒を対象にしました防災ボランティア講座については、地域の方々や防災会、防災士の方にも見学していただいたり、また高校生には防災ボランティア講座の実践の場として、南区総合防災訓練の避難所の開設訓練に参加していただきながら、地域の助け合いの意識の向上を図っていきたいというふうに考えております。簡単ではございますが、以上となります、</p>
金子委員長	<p>どうもありがとうございました。ただいま、事務局であります区役所並びに社会福祉協議会から平成 31 年度の福祉計画について説明がございました。皆様方のほうから、平成 31 年度の計画について何かご意見がございましたら遠慮なく挙手のうえ、ご質問をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。</p> <p>ほぼ、前年度を踏襲しているような中身ではございます。何でもけっこうですので、どうぞご質問をお願いしたいと思います。</p>
山田（久）委員	<p>音声訳ボランティアの山田と申します。</p> <p>一点、お伺いいたします。8 ページの高齢者が安心して暮らせる</p>

事務局	<p>まちの小項目、高齢者の健康づくり・介護予防の推進の取組み番号の三つ目、はかろう体重あるこう南区！大作戦の実施についてでございます。こちらの成果指標カード配布数ということで1万枚を目標としているということでございます。平成30年度と同じということでございますが、カードの配布について、どのような方法で配布をされるという計画でいらっしゃるのか、お尋ねをしたいと思います。</p>
事務局	<p>ご質問ありがとうございます。南区役所健康福祉課健康増進係の相田です。</p>
山田（久）委員	<p>はかろう体重！大作戦のカードの配布について、どのように配っているかということなのですが、今は各区内小学校、中学校、保育園、幼稚園のほうにお配りしているほか、各コミュニティ協議会からもご協力をいただきまして、いろいろな各地区の運動会ですとか、イベントや健康づくりの講座、ウォーキング講座などでお配りいただいています。こちら区役所では、健康づくりの講座やいろいろなイベントでお配りをしております。このたび、3月10日に白根8号線バイパスの開通イベントがありましたが、そこでも配布をさせてもらっています。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。なぜ、お尋ねをしたかと言いますと、参加したイベントの中で、イベントなどでいろいろな人たちが来られるわけですけれども、体重！大作戦のカードが見た時間も遅かったのですが、路上に散乱しているというか、会場に散乱していて、もったいないなと思ったのです。せっかくいい取組みなので、より効果的にお知らせをした方がいいだろうなとも思うし、先ほどの映像の中で、六百いくつというような成果の数字が挙がっていましたが、1万枚に対して600台というのは6パーセントちょっとということにしかならないので、世帯全部に配ったとすれば、一万四、五千円必要になるのかもしれないのですけれども、散乱していた状況を思い起こすと、もう一工夫していただくと、さらに効果が上がるのかと思いましたので、お尋ねをいたしました。ありがとうございます。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。頂いたご意見を参考に、また次年度もより工夫をしていきたいと思っておりますので、よろしく願います。</p>
金子委員長	<p>ほかにございませんでしょうか。</p>
小柳委員	<p>私は白根コミュニティ協議会から出てはおりますけれども、子育て</p>

事務局	<p>でもやっております、先ほどの映像の中にも出ていたのですけれども、子育てオーエンジャーの一員としてやっているわけですけれども、その中でBPプログラムというものがあまして、BPプログラムの1ページの②のところですが、初めて子育てをする親たちの親子の絆づくり講座なのですけれども、この実施者が確かずっと南区の健康福祉課だけだと思ったのですが、児童館等になったのはどういうことでしょうか。お伺いしたいのですけれども。</p>
山田（ひ）委員	<p>ご質問ありがとうございます。児童福祉係の長谷川と申します。</p> <p>この事業は、平成28年度から新潟市全体の事業になっていたのですけれども、平成31年度からは新潟市の方針が変わりまして、新潟市の事業とはしないということにも決まってしまうと、南区としては、とても素晴らしい事業なので、児童館が以前からこの市の事業になる前からやっていたので、児童館にぜひ何とかしていただけないかとお願いしているところで、何と平成31年度、少し規模は縮小なのですけれども、児童館を中心に区役所もお手伝いしながら実施を継続していく予定になっております。</p>
金子委員長	<p>4ページの基幹相談支援センターの充実というところなのですけれども、私は民生委員の主任児童委員として、秋葉の基幹相談支援センターの方のお話を聞く機会があったのです。とても素晴らしいことだな、いいセンターだなと思ったのですけれども、まだ皆さんのほうに周知していないような気がします。区役所だよりと、そこから出していると言っているのですけれども、ここにコミュニティ協議会の方もたくさんおられるので、コミュニティ協議会だよりに載せると各ところに全部回るの、そこに載せていただきたいというお願いというのでしょうか。要望を込めて今、お話しさせていただきました。</p>
金子委員長	<p>今、各コミュニティ協議会で発行されているコミュニティ協議会だよりに今の内容といますか、載せていただければというようなお願いでございます。ぜひご協力をよろしくお願ひしたいと思います。</p>
安達委員 金子委員長 事務局	<p>ほかにございますでしょうか。</p> <p>原稿はもらえるのですか。資料というか、サンプルについて。</p> <p>どうですか。事務局でご協力できますか。</p> <p>貴重なご意見をありがとうございます。障がい福祉係の関本と申します。</p> <p>コミュニティ便りのスペースに載せたいという意見がありまし</p>

金子委員長	<p>たら、事務局のほうでご用意することもできます。このような大変ありがたい意見を頂きましたので、皆様のご協力をお願いいたします。</p> <p>コミュニティ協議会だより等に掲載する場合には、事務局へ申し出ていただければ、原稿等は協力できるということでございます。よろしいでしょうか。</p>
山田（ひ）委員	<p>その秋葉の基幹相談支援センターというところは、ご家族の方からも相談も受けるところなのです。今、引きこもりの方たちも多くて、そういうご相談も受けてくださるので、ぜひ載せてほしいと思った次第です。ありがとうございます。</p>
金子委員長	<p>ほかにございませつか。よろしいでしょうか。ないようでございますので、本日、ご提案申し上げました内容で、平成 31 年度南区の福祉事業を進めていくということでご異議ございませつかでしょうか。ご異議なしといたします。それでは、この計画に基づいて、プランを進めていただくようお願い申し上げます。どうもありがとうございました。以上で、1 番目の議事について終了させていただきます。</p> <p>続きまして、議事（2）地区別計画の取り組み状況についてということでございます。アクションプランでございますけれども、地区別計画というものが一緒に入っております。南区の 12 あります地区別計画について、年度ごとの状況を推進委員会で報告するとともに、報告内容を各地区へ情報提供し、さらなる計画の推進につなげるということ、各地区の取組み状況、評価についてご報告を頂きたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、資料 2 に基づきまして、各地区の委員から説明をお願ひいたします。欠席の地区は説明を省略いたします。時間の都合上、1 地区 3 分程度でお願ひいたします。質問は、全地区終了後に行いたいと思っております。それでは、名簿の上から順番になりますか、最初は新飯田地区からお願ひしたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。</p>
金子（勝）委員	<p>それでは、新飯田地区の取組み状況について、ご報告します。</p> <p>ここに記載のとおりでございます。とりわけ災害時の有事のときの避難について、各家庭で話し合ひましようということ、取組んできています。全自治会で取組みがでなかつたということ、B 評価とさせていただきます。今後、とりわけ障がい者、高齢者については、全自治会で取組もうということ、取組みの輪を広げて</p>

上杉委員	<p>まいりたいと思っております。</p> <p>もう一点でございますが、安全に避難できるよう、避難所の安全について検討を続けるということで取り組んでまいりました。アンケートは全所帯を対象にして実施いたしました。ただ、前年度までは高齢者だけの所帯ということで実施をしてまいりましたけれども、高齢者と同居している、その次の世代というのでしょうか。子供たちの世代にも平成 30 年度にアンケートを実施してまいりまして、このアンケート結果に基づきまして、また地元で取り組んでまいりたいと思っております。</p> <p>あとはごみ出しや見守りについては、平成 30 年度はA評価といたしました。そのほか、公園がございますけれども、公園の見回りについては定期的に見回っているということでA評価といたします。</p> <p>そのほか、地域の茶の間を2か所開催しておりますけれども、これについても世代間交流を実施しておりますのでA評価といたしました。</p> <p>みんなが発揮できる地域ということで、支えあい、助けあうまちづくりをしようということでございますが、取組み内容についてはずっと取組みを続けてきておりますので、今後も続けてまいりたいと思っております。以上、新飯田地域での取組み状況についてお話しいたしました。</p> <p>続きまして、コミュニティ茨曽根地区の評価について発表いたします。茨曽根地区は、「笑顔がつどう明るい茨曽根」ということをスローガンに掲げておりまして、特に高齢者が安心して暮らせる地域を作ろうということで、老人クラブ及びお茶の間活動ですが、今、一生懸命取り組んで、育てている最中でございます。ただ、高齢化になりまして、やはり行事の内容が畑仕事ばかりさせられるのでは参加しないということと、体調を崩して退会される方がいたりして、人数が減少しているのも事実です。ただ、お茶の間に関しましては、やはり一人の負担が大きくなりすぎて、それを継続することが難しいという意見もあつたりして、私ないし自治会のほうで協力するという形で、今、話を進めておりますので、Bと評価させていただいております。ただ、茨曽根地区では、平成 30 年度、新潟市では唯一なのですが、地域の方から認知症について勉強したいという言葉がありまして、それを基に認知症徘徊模擬訓練というものを第2回目ですが、実施いたしました。より地域を細かく分けて、見</p>
------	--

<p>中丸委員</p>	<p>知らぬお年寄りが徘徊していた場合は、地域の方はどのように対応したらいいだろうか。どのように声をかけたらいいだろうかということを南警察署のパトカーも出していただきまして、実際に訓練をさせていただきました。警察の協力のもと、見知らぬお年寄りを見かけたら、まずは声をかけましょうと。声をかけて引き止めてみましょうということを皆さんに分かっていただきたくていたしました。その後、連絡先として、110番するのは敷居が高いという意見もありましたが、これも訓練をすることで、どのように連絡の流れができるかを警察の方の協力のもと、実際に架空の電話番号を作って、連絡を入れてみるという訓練をしました。その結果、1回目は、ほとんど声かけはなかったのですが、平成30年度は26件近くの方が寄ってきて、声をかけてくれ、そのうちの8組の方が実際に電話をかけるという行動を取っていただきましたので、とてもよかったかなと思います。その後、年2回、各地域でグループホームの施設長の方に、認知症とはこういうものだ。事故につながらないためには、どうしたらいいかなどの勉強会を開催させていただきました。茨曾根は、高齢化が進んでおりますので、やはりみんなで見守っていきましょうということで、今、評価も丸をつけていただいております。</p> <p>2の子供たちのことなのですが、地域の方すべて、子供は地域の宝だということは徹底しておりますので、犬の散歩をわざと子供の登下校に合わせて見守るという方も出てきておりますので、セーフティスタッフというか、見守りスタッフも登録者が増えておりますので、評価は上がりましたが、やはり農作業をされているから、1学期はできたけれども、後半は全然できていないという意見もあったので、セーフティスタッフのところに関しては、評価を下げさせていただきました。ただ、茨曾根全体としては、自治会の数が少ないために、自治会長という方がたくさんの役を三つ目、四つも兼ねているので、とても忙しいという問題点があります。そこでより自治会長を退役された方をボランティアの部分に引っ張っていただければいいかなということを考えております。どうもありがとうございました。</p> <p>庄瀬地区の中丸です。遅くなりまして、申し訳ありませんでした。庄瀬地区におきまして、1番目の課題が、まず昨年までCだったわけですが、これが地域の若い人たちが地域生活センターをDIYをしてくれまして、非常にロビーを若い者たちがよれる施設に改造してくれました。そこに書いてありますが、一応、「もくば」とい</p>
-------------	---

う機関誌を出したり、若者たちが寄る茶の間として利用されております。それから、庄瀬地区に保育園がなくなってから、子育て世代の集まる場所がなかったということで、何とか若者たちが寄るところということで、今、試行で学童保育をやっておりますが、来年度からは正式に学童保育をスタートさせる予定でございます。そういったことで、非常に若者たちが寄る場所、それからそこをまた核にしまして、今、放課後、毎日、学校の帰りに寄るホールとしても使っておりますので、毎日、人が来ていると。そこにまた年配の人がセンターに寄ったときに声をかけるとか、世代間交流にも役立つ地域の核として期待をしているところです。

ただ、ご存じのように庄瀬というところは、非常に広いところになおかつ信濃川の堤防沿いにへばりつくような形で広範囲に散っております。1か所に集めようといってもなかなか大変で、若い人たちの場合は、車で来ますので功を奏しているのかと思っておりますが、それ以外の課題に関しましては、どうしても高齢者の方を集める場合に、移動手段、庄瀬の場合は、地域生活センターが一個ありまして、あと各集落24自治会ありまして、集会所が16個あります。そこにとにかく、本当に小さな自治会は12世帯で1自治会を形成しておりますので、その中でだれかが茶の間を作るということも試みてはみたのですが、これはなかなか作っても、何人寄れるかなということで実効性はないしということで、今、庄瀬地区は、老人会が三つあったものが、今、二つにありまして、もう一か所を何とか復活させたいなどは思っておりますが、それでも広すぎるというのが今、悩みの種で、以前からやっておりました皆さんが集まる祭りだとか、そういったものに対してどのように声をかけて集まってもらえるかということで、敬老会もそうですが、自治会はじめいろいろいな団体から活躍してもらっているわけですが、ご存じのように祭りはあのとおり盛大ですし、自主防災会主催の防災訓練をやれば、600世帯で600人くらいの参加があるという催し物になっております。

そんなことで、非常に参加率も高いですし、ただ、自治会が、自治会長が1年交代とかというところが7割ありまして、この計画をいかに徹底させるかということが一つの課題になっておりまして、今のコミュニティ協議会の役員の方が非常に難儀をし、また今のセンター職員が非常に頑張ってくれておりますので、もくばの運営だとか、しょうぜっ子クラブの発行だとかに尽力いただいております。

<p>西村委員</p>	<p>が、そういうメンバーがいてこそなので、それを何とか一人でも多くスタッフを増やしたいなと願っているところではありますが、諸々の要因がありまして、思うようにならない。Bのついているところは、目標年度の途中ですし、今よりもさらによくできるだろうという期待も込めまして、来年はAを目指そうと、もう一歩頑張ろうということで、評価をBにしておいた面もありますし、やっているメンバーは非常に一生懸命やってくれているなど感じております。</p> <p>ただ、先ほど言ったように、600世帯を24の自治会、自治会長がいて、いろいろ防犯だとかの役員がいます。ということは、一般の住民にすると非常に恵まれているというか、大勢の人が見守ってくれているわけですので、これは逆にありがたい話で、通常的生活の中で、お互いがお互いのことを気にかけているし、交通安全協会の方は、交通安全の面で、防犯の方は防犯の面で。大勢の人間がかかわることで、うちのコミュニティ協議会は全部で78名ほどの人員で回っています。その下に民生委員がいたりしますので、非常に大勢の方が地域の活動にかかわっているということで、それは小さいところの強みかなと思っています。逆に言うと、いや、お互い見ているのにあえて公のそんなもので見てもらわなくてもいいというような声もあるわけで、特に見守り支えあい事業の声をかけますと、うちはうちでとにかく当たり近所、みんな親類だしあれだわという形で、なかなか今度、公に参加してくれないという地域性もありまして、その折衝と申しますか、折衷案がなかなかないところが悩みでございます。</p> <p>スローガンが「声かけ合い心をつなぐ小林地区」です。推進項目は四つありまして、まず自治会での目的や年齢にこだわらない定期的な集まりを開催する。この取組みは、子供会、防災会、見守り隊、防犯パトロール、地域の茶の間等の取組みを行っています。取組みについては、各自治会及び関係者の努力があった結果、参加者が増えております。老人会につきましては、三つの老人会がございまして、近年、参加人数が減っているということがございまして、今後、隣近所などに声かけ合って増やしていく必要があると思います。いずれの取組みについても言えるのですけれども、男性の参加者が非常に少ないと。先ほどもありましたけれども、取組み内容を工夫して、今後、やる必要があるかと思っています。評価としてはBにしました。</p>
-------------	--

2番目の高齢者に限定したお茶の間だけでなく、若い世代を含めた集まれる場を実施する。これにつきましては、地域の茶の間、ふれあい昼食会、敬老会の取組みをやっていきます。内容としては、小学校と父兄、小学校と民生委員の交流を実施しております。また障がい者とその父兄を交えたふれあい昼食会は、毎年11月にやるのですけれども、大変盛況でありまして、交流が図られたと思っています。

ただ、期待される取組みの中の男性の茶の間を作ると小林センターのトイレなのですけれども、これが将来的な災害時の拠点になりますので、多目的トイレを設置するというのを今、検討してございますので、評価としてはBにしました。

次は、単発でなく、その後のつながりを感じられる活動をする。これについては、地域の茶の間、ふれあい昼食会、歳末訪問活動声かけ等がございます。年末、昨年度から実施したのですけれども、自治会長と委員と一緒に歳末訪問すると。その中で、住民の方に最近はやっているオレオレ詐欺、今はアポ電というのですかね。それを一応、気をつけなさいとやって、住民の人から非常に喜ばれました。

ふれあいウォーキングは、毎年実施しているのですけれども、大好評でして、これも引き続き、検討していきます。小林地区は、非常に交通アクセスが悪いのですけれども、高齢者への支援として、にいつフードの移動販売といったものをPRしていく必要があると思います。

次の、祭りのようなイベントを開催するは、小林地区の特長なのですけれども、運動会、卓球大会は世代を越えて非常に盛んになっています。また、運動会に関しては、屋外から屋内に変更とか、卓球大会については、午前中にするとか、いろいろ工夫して、世代間を越えた多数の人から参加していただいております。

文化的な事業として、今月3日にひなまつりコンサートを、これはJA農協の敷地を借りまして実施しました。何しろ無料でお菓子つきということでもありまして、また中国の方が来るということで大盛況でありまして、これも文化事業として定着しております。

2の地区の皆が地域活動情報を知ると3の子育てを地域住民で支援する。評価としては、一応、Aとしました。ただ、情報なのですけれども、団地、アパートに住んでいる人の交流がなかなか少ないのです。自治会長がチラシなどを配るときに、一応、声かけあつ

<p>小林委員</p>	<p>て、なるべくたくさんの方が自治会に参加するように努めています。先ほどもありましたけれども、自治会長の任期が1年。今年も7割の人が交代になるということで、小林コミュニティ協議会では任期を2年にするというのを今、提案しております。全体としては、左上にありますけれども、地域の関係者で共有しよう。評価としては一応、○。引き継ぎをきちんとしよう。いろいろございますけれども△。下の段も△にさせていただきました。</p> <p>臼井地区コミュニティ協議会の会長の小林と申します。</p> <p>臼井は「『やろってば!』笑顔で仲良く臼井地区」ということで掲げさせていただいております。目標として、1交流・仲間づくりができる集まる場がある地区ということ四つ説明しております。まず最初は、地区の既存組織を大切に育てるということで、コミュニティ協議会で2か月に一遍、総務委員会ということで開催いたしまして、会議でいろいろなことにつきまして実施計画並びにそういうもの話し合いをしております。</p> <p>臼井では、皆様方と違いまして、地域に一つ中学校がございますので、中学校と一緒にやっている事業は多いかと思えます。それで、やはり中学校が終わりまして、若者がほかに流れていくという現実がありますので、ぜひ今後、同窓会というものの役割をもう少し大きくさせまして、地域に子供たち、また卒業した皆さんが戻れるような地域にしていきたいなということで、評価はBにさせていただきます。</p> <p>続きまして、既存の事業を活発にするということで、皆さんご承知のとおり、狸の婿入り行列等がございます。それにつきましては、各地域からのご協力及び中学校、小学校からのご協力をいただきまして、年々大きくなって、多くの方から参加していただきますし、多くの方から見学に来ていただいておりますのでAにしました。</p> <p>その次に、送迎を含めてだれでも参加できる方法を検討するという中で、敬老会の強化についてですが、これにつきましては、各自治会にお願いして、多くの方から参加していただけるようやっております。この敬老会につきましては、今後、どうなるかということでもありますけれども、平成31年度については敬老会も引き続き、開催されるということが決まりそうなので、これもまた皆様方のご協力いただきまして、やっていきたいと思っております。</p> <p>続きまして、事業者も地域の一員、積極的に交流を図るということで、これにつきましても地域にデイサービスセンター等がありま</p>
-------------	--

安達委員

すので、そこの地域交流まつりと本臼井地区と一緒に開催させていただいておりますので、これもAとさせていただきます。

続きまして、2 ボランティアや地区活動に関してですけれども、一つ目があいさつ運動をするということで、これはコミュニティ協議会の部会で小学校、中学校、各団体と年に4回ほどあいさつ運動等をされておりますし、また一昨年からわんわんパトロールということで、あいさつ犬を増やしまして、あいさつについて頑張っております。

続きまして、ボランティアや地区活動に積極的に参加するというところで、これにつきまして、コミュニティ協議会の中で食育生活指導また小学校等の読み聞かせ等、ボランティア活動が活発になっておりますので、これもAとさせていただきます。

最後、行事と活動の情報のPRを努力するというところで、コミュニティ協議会でコミュニティ協議会だよりまたは各学校の行事等を掲載いたしました年間のカレンダーを作成して、全戸配布しておりますので、これもAとさせていただきます。

鷺巻地区は10の自治会で運営しておりますけれども、実は小学校区が二つに分かれているのです。大橋小学校と大通小学校に分かれています。このスローガンにあります「全員集合！鷺巻地区～笑顔の和を広げよう～」、なかなか協調性がないというか、協力性がないというか、そのように感じております。一応、こういうアクションプランというものを立ち上げなければだめということで、今年が初めてなもので、なかなか内容が分からないのですけれども、作らなければだめという目標は二つあるのでしょうか、ほかの地区に比べてCが多いのです。

なかなか上に立つというか、役の人だけが動いているような状況で、特に頑張っているなというところは、2番目の多世代交流の(機会)場をつくるということで、大鷺夜まつりというものを行いました。これは大郷との共催でまつりをやっているのですけれども、保育園、小学生、中学生の子供たちからステージに上がってもらって披露して、そうしますと両親、祖父母ときて交流があると。昨年あたりは600人以上集まりまして、また盛大に交流をされたのではないかと考えています。2番目には、灯籠桜まつりを6年前から実施したのですけれども、これも子供たちにペットボトルの灯籠を作ってもらいまして、それを飾ったり、また大通の川に流したりして楽しんでもらっております。これも五、六百人集まって、ほかにサッ

	<p>クスや太鼓、踊りいろいろなアトラクションをしてもらっていて、大変盛り上がっています。この辺のところはいいのですけれども、地域の茶の間が今まであったのですけれどもなくなりまして、今あるのは桜町の老人クラブと中鷲ノ木のはたちの会というのでしょうか。リーダーがいない、みんなかわりばんこに登板をして、お茶を飲むという2はたちの会というものを立ち上げておりますが、その点が頑張っているのかなというところで、ほかのところがいまいち、実効性がないように思われます。今後、私らの取組みというか、努力も足りないのでしょうかけれども、これからやり方を考えて頑張りたいなと思っております。</p>
金子委員長	<p>まとまりのない話で申し訳ございません。 根岸地区におきましては、評価はこれからという話を聞いておりますが。</p>
丸井委員	<p>資料には間に合いませんでしたが、口頭で申し上げることはできますが、いかがいたしましょうか。</p>
金子委員長	<p>お願いいたします。</p>
丸井委員	<p>まず資料が間に合わなくて申し訳ありません。口頭で申し上げます。 根岸地区においては、お茶の間を全域に作ろうということで、全部で六つの項目を立てて、それを実施するという事です。最初の新規のお茶の間の立ち上げについては、残念ながら新しいお茶の間という場は立ち上がりませんでした。既存のお茶の間の活動、老人会やら、あるいは集会所を利用した地域のグループ活動といったものを実施したということでありました。したがって、評価については立ち上がりませんでしたけれども、一応、前年度を踏襲すればCということになるのかと思います。 二つ目の項目、既存のお茶の間事業の拡充に關してであります。地域交流会として、輪投げ大会というものを実施しております。今年度も大変多くの参加者がいて、非常に盛り上がった交流会でありました。多数の参加者が見られました。地域の婦人会、あるいは老人会が定例の活動を行っております。また、地域包括支援センターとの情報交換会を実施した自治会などもございます。そうしたことで、昨年に見られないような活動もあつたり、また既存のお茶の間交流会も盛況であったということでありました。評価はBとしてあります。 三つ目の項目、隣近所との協力体制づくりに關しては、根岸小学</p>

長谷川委員	<p>校、白根北中学校と連携し、小学校とは、例えばさつまいも掘り体験とか、水路の魚調査とか、そういったことだったり、あるいは北中とはごみ拾いの活動であったり、そうしたものと協力して、そういう事業を行っているということです。また、自治会ごとにいろいろなまつりというものがありまして、まつりをするのに近所の協力を募ってお祭りを実施しているということです。根岸地区で大きなものはあやめ祭りなのですけれども、それも毎年のように盛況に行われています。それから、さくらロードのウォーキングアンドごみ拾いということで、それも多数の地域住民が参加して、協力的にやっております。また、今年度防犯見守りを兼ねたワーキング活動というものを実施している自治会なども見られました。したがって、こちらのほうはこれまでB評価だったのですけれども、新しいものも立ち上がりましたし、Aとさせていただきます。</p> <p>趣味のサークル等ではありますが、これについてはゲートボール、手芸サークル、カラオケ、ゴルフなどをやっている自治会などがございまして、こちらは引き続き、それが続いているということでAとさせていただきます。</p> <p>続いてのリーダー育成に関しては、多くの自治会ですね。今までのやり方などを踏襲するような形で行っていることが多く、なかなか新しいリーダー育成というものが難しいものがあるということでもあります。また、役員の引き継ぎ等も実際にやっているところもあるのですけれども、それが口頭であったりして、きちんと伝えられていないという実情がありCとさせていただきます。</p> <p>最後の地域で要援護者が取り残されないような体制づくりに関しては、自治会ごとに、例えば、要援護者の一人ひとりに役員を担当者として割り当てていたり、あるいは自治会の3役で情報共有を図ったり、あるいは防災部を新たに立ち上げて、協力体制づくりを組織からしていこうというところも見られ、こうしたところはAとなっております。</p> <p>大通地区は、世帯が2,100強くらいのマンモスの団地と言っておかしいですが、その中に65歳以上の方が30パーセント645人とか、そういう形態のところなので、事業は各個別に皆さん一生懸命なさっているのです。これがなかなかまとまりがよいとは言えない形が、私から見たらそのように感じています。一応、評価なので主観と客観で、数字がないもので、どうしても主観的なものと客観で二つに分かれると思うのですけれども、どちらかといえば主観的な</p>
-------	---

感じで評価がいくのかなと。それが評価としては課題があるかと思っています。

大通は、安心して子育てできるまち・障がいのある人もない人も安心して暮らせるまち・高齢者が安心して暮らせるまちという形でやっていますけれども、1番の学校との地域との協力体制は、今、小学校の高学年に夏、水やりをやってもらっているのです。一昨年までは水やりをやってもらったのですけれども、昨年は名前を書いてもらって、やはり名前を書くということは責任感、やったというものが分かるということで、昨年の夏はノートに名前を書いてもらって、花を育ててもらいました、評価1のBにしておきます。

各種団体等の協働を図る。昨年のうちのコミュニティ協議会の健康福祉部会で初めてだったのですけれども、70歳以上の高齢者の方と若い世代で同居の世帯です。要するに福祉のないところも出るような、手が届かないような人のところに、一応350強の世帯に5人の民生委員が回ってきました。評価はB。

既存事業を拡充して多世代交流の機会をつくるということなのですけれども、老人会が四つあるのですけれども、まあまあやっているのと、メンバーが高齢化して、地域でどんという形が共存しています。その中で、今年、畑です。要するに農家の方が畑をやらないからという声かけをしてもらいまして、有志を募りまして、今、支援センターの川口さんをサロン西の方が、今そういった形で、そういったもので男性や、女性の方も手を挙げているのですけれども、そういった形で要するに集まれる、そういった夢のあるというとおかしいのですけれども、健康に時間を過ごすという形で立ち上げになったばかりです。これは今後、定着するといいなとは思っております。評価はCとしました。

2のみんなで作ろう安心安全は、1番の地域内でみんなの声かけということなのですけれども、ボランティアはうちのほうでも見守りとか、けっこうなさっている方がいらっしゃるのです。周りの方が、ボランティアというのは、有償でやっているのではないかという誤解。一応、有償ボランティアという名称もありますので、そこと無償という、分かる方は分かるのですけれども、分からない方の意見として、お金をもらってボランティアやっているのだから一生懸命やれと。そんな形の見方ですよ。目線というのはやはり、中にはきつい目線の方も中にはあると。これも無償というものをもう少し告知してあげたほうがいいのではないかという意見がありま

小柳委員	<p>した。これは一応Cに評価しました。</p> <p>隣近所との協力体制です。防災士の会のメンバーは今、6名くらいでしょうか。立ち上げて防災を含め、自主防災など連携して独自に防災士会というものを立ち上げました。これは評価Bです。</p> <p>最後に、災害時に対する避難体制の確立。連絡網はできているのですけれども、もう一回、個人情報で、自分の住所うんぬんとか、電話番号を載せないという住民、自治体があるのですけれども、中にはそういった自治会もあるのです。中には逆にもう全部住宅地図に載せて、電話番号も載っているとあった自治会もあるのです。両極端で、個人情報というのがネックで、電話番号はだめと。その一途でのだめという形。これを払拭していかないと、今年1月にうちの自治会で火災が発生しまして、1軒燃えまして、延焼が1軒あったのですけれども、そのときに電話番号は本当に、ちょうど昼間だったのでまだ人に電話番号を聞けるのですけれども、やはり固定電話ではなくて、緊急の困ったときは携帯が必要なのかなど。声をかけて聞けばできるのですけれども、やはりそういった意味では、各ないところの個人情報うんぬんということは、もう少し適正に把握してもらって、理解していただいて、ある程度、避難地図とか、自治会だけのものなので、そういったものが共有できて、12自治会が全部きれいなものができて、それをもし活用できればなど。災害のとき、私は骨身にしみて思いました。</p> <p>白根コミュニティ協議会の小柳と申します。</p> <p>白根コミュニティ協議会は「みんなにやさしいシロネもん」ということで活動させていただいております。これは白根小学校区という形です。校区が広いもので南部、中部、北部という形でそれぞれが活動しております。評価に関しては、それぞれの南部、中部、北部の方の長に集まっていたいただいて、評価をしていただきました。私は、保健福祉部会の一員ということなので、全体のことが把握しきれないということでした。一応、評価は、前年度から見て、一番左に実施している取組みがありますけれども、そこをずっと見ていて、前年度よりもある程度、進歩とか、新しいことができてたなというところはAという形で評価させていただきました。A、Bというのは、どういう主観で、どこからどこがAということになると、少し難しく、やはり主観的なものが多いのかと思って、それはやはり自治会長の主観からやっていただくという形で行いました。見ていただければ分かると思いますけれども、右の方に課題や要望</p>
------	--

仲山委員	<p>が書いてあります。時間もありますので、皆さんにこれを見ていただければよろしいのではないかと思います。ありがとうございました。</p> <p>味方地区です。味方地区のスローガンを見ていただければ、この内容がすべて分かると思うのですけれども、「なじらねばかい〜ねいきいきふれあいささえあい」、このなじらねというのは、お年寄りに声かけをしたり、一人暮らしになっている方に声をかけたりとか、そういうやさしい気持ちで一人でいたら心配だから、少しでも声をかけてみようかというなじらねとか、そういう気持ちで「なじらねばかい〜ねいきいきふれあいささえあいささえあい」が味方地区のスローガンになっています。</p> <p>味方地区は、他の地区よりも地域のお茶の間が多いのですけれども、そのお茶の間の中でも、地区ごとに夏休みになったら小学生を招いてイベントをやったり、お年寄りを招いてお茶会を開いたり、そういうこともやっております。</p> <p>また、老人会は積極的に地域の小学校などそれにも参加して、今年は老人会が小学校で昔遊びを教えながら交流などをしましたけれども、あとはボランティアの地域の宝の笹川邸の草取り、冬の寒いときの煤払いなどを手伝いました。</p> <p>交流では、障がい者との交流をやったり、地域の敬老会では、地域の老人がものすごい楽しみにして、たくさんの方が参加していただいております。</p> <p>男性ボランティアの育成を図ることなのですけれども、男性は恥ずかしいのかさっぱり参加してもらえないのですけれども、私たち平成30年度はAが多いのですけれども、みんなが協力して頑張ってくれたからAでいいのではないかとということでした。ただ、男性ボランティアの参加が少ないということで、一部の地域の茶の間で来年度からいきいきの茶の間だけではなくて、そこに老人会とピアノカなどのサークルを一緒にして、お茶の間でしたら月1回だったのだけれども、そうすると今度、月3回で男性の老人会の男性会員も参加できて、もっとよくなるし、ほかの老人会に加入していない男性でも、もっと参加しやすくなるのではないかと考えて、平成31年度は、そのように計画しております。ありがとうございました。</p>
金子委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>月潟地区でございますが、今日は担当が欠席なので、私から説明</p>

させていただきます。

まず、1、子どもを含めて世代間交流の活動をしようということでございます。かいつまんで申し上げますが、2番目の地域の茶の間に子どもたちを招いて一緒に活動すると。各地区で八つの地区があるのですけれども、子供が少なくて、交流しようにもなかなかできないということもございます。茶の間によっては、子供の多いところは交流を一生懸命やっているのですけれども、評価としてはBということで判断いたしました。

ふれあいスクールを継続するというのも、平成31年度から指導要領が変わるのでしょうか。授業数が増えて、なかなか放課後のふれあいする時間がなくなってくるということで、平成30年度はBでございましたが、今後、どうなるかなというところでございます。

2の地域の茶の間を各集落につくろうということでございます。先ほど言いましたように、八つの地区の中で今、あるのは四つでございます。そのほかに昨年から月湯は2のつく日と7のつく日は市日をやっておりまして、市日の店が立つ空き店舗等を利用して、獅子の里といういわゆるお茶の間のものをやっております。そこで、お茶をサービスしたり、話し相手になったりということで、けっこう市日ごとに20人から30人程度の方がお見えになっております。今年に入ってから、医療スタッフというのでしょうか。先月はお医者さんから協力してもらって、骨密度というのでしょうか、骨年齢というのでしょうか、そういうものを測ってもらったり、一昨日17日は血糖値を測ってもらったりということで、医療関係の方たちとのつながりもあって、そういうときにはけっこう人が多く出ておられます。ただ、八つの地区のうちの半分くらいしかできていないということもございまして、とりあえずBといたしました。

3の地区の運動会を盛り上げようということで、今年はDになっているのですけれども、昭和40年代から続いてきた運動会なのですが、昨年、これは自治会でどうしようかと相談するのですが、今年はやめようという話になりまして、平成30年度は実施していません。

それから、ボランティア・地区のリーダーを育成しようということでございますが、なかなか新しいボランティアも増えていかないという中で、前年同様ということにさせていただきました。

それでは、各地区から報告を頂きました。何か聞いてみたいとい

事務局	<p>うようなことがあれば、お聞きいただきたいと思います。いかがでしょうか。ないようでございますので、次に進みたいと思います。</p> <p>議題（３）分科会についてお願いいたします。</p> <p>健康福祉課の星野でございます。</p> <p>分科会について説明させていただきます。お手元の資料３をご覧ください。</p> <p>さきの委員会で、皆様から第３希望まで聞かせていただきました。その結果、希望に偏りがありまして、必ずしも第１または第２希望となっていない場合がございますが、事務局のほうでなるべく上位の希望になるように調整させていただいた結果が資料３の構成でございます。分科会を開催する場合は、この構成でと思いますので、何卒よろしくお願い申し上げたいと思います。</p>
金子委員長	<p>ただいま事務局から、分科会の構成について説明がございました。希望どおりにはなかなかいかなかったという方もいらっしゃるかと思います。第２、第３希望となる方もあったのだらうと思いますが、全体の中の調整でございます。こういうことで決定させていただいてよろしいですか。ありがとうございます。それでは、このようにさせていただきます。</p> <p>次第５報告及び連絡事項でございます。事務局、お願いいたします。</p>
事務局	<p>連絡事項です。１点目、次回の推進委員会の開催は、８月初旬を予定しております。昨年度ですと８月１日でございます。平成３１年度もおおむねその辺でまたお願いしたいと思っております。</p> <p>２点目、次期計画の準備についてです。現在の計画は、平成３２年度までの計画であります。そのため、次期計画の策定の準備を平成３１年度から進めていければと考えておりますが、現時点、どのようなスケジュールで、どのような内容を決めていくのかということが、まだ本庁のほうから方針が示されていないため、次期計画のことで改めてご参集いただく場合がありますたら、委員長、副委員長にご相談したうえで、皆様にご案内をしていきたいと思っております。</p> <p>３点目、今年度新たに委員に就任されて、マイナンバーの報告をいただいている委員につきましては、事前資料とあわせて郵送させていただきます。報償費の支払いのときに必要となりますので、事務局まで提出をお願いいたします。</p>
金子委員長	<p>ただいまの事務局の説明に何かご質問ございますか。ないようで</p>

事務局	<p>ございます。ただいま、事務局のほうでお話がありましたように、次回の会議は8月予定ということでございまして、平成30年度の区のアクションプランの取組みの結果報告ということでございます。また、次期計画の策定準備のことで委員の皆様からも参加していただく場合は、別途案内があるということでございました。</p> <p>それでは、本日、議事等も終了いたしましたので、会議の進行を事務局にお返ししたいと思います。スムーズな進行をどうもありがとうございました。</p> <p>ありがとうございました。長時間にわたりまして、皆様ありがとうございました。今日、頂きましたご意見を参考に、次年度以降もアクションプランを推進していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくご協力をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、これで予定したものがすべて終了となります。どうもありがとうございました。</p>
-----	---